

※新型コロナウイルス対策のもとで開催します。中止があり得ます。

- ・定員は 40 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員（1 名／社）から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。
- ・越境に関する行政・世論の懸念が深刻の場合、受講者の所在地に制限を設けさせていただくことがあります。
- ・発熱や風邪の症状が認められる場合、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用し、手洗い、咳エチケットにご留意ください。
- ・入口にアルコール消毒液を準備しますので、ご利用ください。
- ・換気のため、会場の出入口や窓は常時開放します。
- ・後日、会員限定のもと当日のビデオ撮影版を配信します。

令和 3 年 1 月 4 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 164 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和 3 年 1 月 26 日（火）14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀 2 階会議室（佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711）

話 題：平成 28 年熊本地震からの創造的復興（阿蘇地区災害復旧工事の軌跡）

講演者：日特建設(株) 九州支店 技術部 山下 一臣 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

平成 28 年(2016 年)4 月 16 日の本震発生から全面通行止めが続いていた阿蘇大橋地区の国道 57 号が令和 2 年(2020 年)10 月 3 日、4 年半に及ぶ現道復旧工事と北側新ルート工事を終えて全面開通した。残すは 3 月末竣工予定の阿蘇大橋架け替え工事だけとなり、阿蘇大橋地区の創造的復興は今やゆるぎないものとなっている。ここでもう一度地震発生直後の被災状況を思い出し、主に阿蘇大橋地区斜面对策工事や阿蘇カルデラ内の軟弱地盤対策工事の軌跡をたどりながら、未来へ語り継がなければならない大事な言葉を探したい。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたは FAX でご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内